



公益・正大・誠実

NO.
55

2024 JANUARY

協会ニュース

2024 きれいな水を未来へ



震災から復旧した阿蘇神社の楼門（国指定重要文化財）

熊本県知事指定検査機関

公益社団法人 **熊本県浄化槽協会**

〒861-3107 上益城郡嘉島町上仲間227番地86(嘉島リパゾン内) ☎(096)284-3355

ごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

はじめに、元日に石川県能登地方で発生した「令和6年能登半島地震」により犠牲となられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災されたすべての方々に心よりお見舞いを申し上げます。

会員ならびに関係行政機関の皆様方には、日頃より、当協会の運営にご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年11月に開催しました創立50周年・公益法人移行15周年記念式典には、多くのご来賓をはじめ、会員・行政機関の皆様方にご参加いただき、節目となる記念式典を盛大に執り行うことができました。ご参加いただきました方々に心より感謝申し上げます。

令和6年の4月1日より、およそ20年ぶりに検査手数料を改定することとなりました。人口減少や物価高騰が進む中、安定した検査を実施し、浄化槽の適正な維持管理を徹底するための改定ですので、ご理解をいただきますようお願いいたします。今後は、一基でも多くの法定検査を実施し、水環境の保全に取り組んでまいります。

今年の干支『辰(たつ)』には、力強さや進取の意味があるそうです。協会も『辰』のように、力強く前進し、新たな展開に挑戦する一年としたいと思います。

地域の水環境保全・公衆衛生の向上のため、信頼性のある法定検査を実施するとともに、環境に配慮した浄化槽の普及や維持管理の重要性をより効果的に発信し、熊本のきれいな水を未来へつなぐため、本年も邁進してまいります。

引き続きの皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

最後に、皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人 熊本県浄化槽協会
会長 森田 和博

創立50周年・公益法人移行15周年記念式典

令和5年11月21日(火)、熊本ホテルキャッスルにおいて、ご来賓、協会会員など200名を超えるご参加のもと、『創立50周年・公益法人移行15周年記念式典』を挙行了しました。

【記念式典】

記念式典では、会長挨拶に続いて、5名のご来賓からご祝辞をいただいた後、記念事業の披露を行い、各支部による記念植樹の実施状況などを映像によりご紹介しました。



開会のことば 田中栄一副会長



会長挨拶 森田和博会長



祝辞
熊本県土木部長 亀崎直隆 様



祝辞
熊本県議会副議長 内野幸喜 様



祝辞
熊本市副市長 深水政彦 様



祝辞
熊本県浄化槽普及促進協議会会長
人吉市長 松岡隼人 様



祝辞
(一社)全国浄化槽団体連合会会長
上田勝朗 様

また、(一社)全国浄化槽団体連合会及び(公財)日本環境整備教育センターから、当協会に対し、これまでの環境保全等への取組みに対して感謝状及び表彰状が授与されました。



(一社)全国浄化槽団体連合会



(公財)日本環境整備教育センター

最後に、当協会から、多年にわたる法定検査への功績に感謝の意を表し、6団体に対し感謝状を贈呈し、記念式典を閉会しました。



熊本県浄化槽普及促進協議会



熊本県環境整備事業協同組合



熊本県環境保全協会



協同組合熊本県環境技術協議会



熊本県水環境事業協同組合



熊本市浄化槽団体連絡協議会



閉会のことば 甲斐秀人理事

【記念講演】

記念講演では、ヒトコト社代表の村上美香氏を講師にお招きし、『人生はいつだって始まったばかり!』～私のライフデザイン～と題してご講演をいただきました。



講師 ヒトコト社代表
村上美香氏

【記念祝賀会】

その後の記念祝賀会では、冒頭に山鹿灯籠保存会による山鹿灯籠踊りを披露していただきました。



オープニングイベント 山鹿灯籠披露

開会のことば、会長挨拶に続き、たくさんの方々にお祝いの言葉をいただきました。



開会のことば 内藤雄二副会長



会長挨拶 森田和博会長



祝辞
熊本県議会 建設常任委員長
松村秀逸 様



祝辞
熊本県議会議員 城下広作 様



祝辞
熊本市議会議員 田中敦朗 様



祝辞
熊本市議会議員 古川智子 様



祝辞
環境省 環境再生・資源循環局
廃棄物適正処理推進課浄化槽推進室
室長 沼田正樹 様



乾杯
(公財)日本環境整備教育センター
理事長 由田秀人 様

懇談・交流の後、閉会のことばを頂戴し、祝賀会は盛会のうちに閉会しました。



祝賀会会場



閉会のことば
熊本県環境整備事業協同組合
理事長 篠崎武 様

当日ご参加いただきました皆様には、改めてお礼申し上げます。当協会は、この佳節を機に今後更に役職員一丸となり、浄化槽の普及促進及び法定検査業務の適正かつ確実な実施を通じて、熊本の水環境の保全に貢献してまいります。

今後とも、一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

記念植樹について

創立50周年・公益法人移行15周年記念式典の記念事業として、支部による記念植樹を行いました。県内の公園などに桜やモミジなどが植樹され、記念事業を表す記念プレートが併せて設置しました。ご協力いただきました会員の皆様に感謝申し上げます。

なお、植樹の実施状況は次のとおりですので、お近くにお越しの際は是非一度ご覧ください。

	植樹場所	実施日	樹種
熊本支部	江津湖中ノ島公園	令和6年 1 月30日	サンゴモミジ
有明支部	蛇ヶ谷公園	令和5年11月13日	ジンダイアケボノ(桜)
水俣支部	中尾山公園	令和5年10月23日	野村モミジ
人吉支部	球磨村災害公営住宅	令和5年11月14日	モミジ
天草支部	天草四郎公園	令和5年 6 月25日	ソメイヨシノ



有明支部



水俣支部



人吉支部



天草支部

令和5年度 循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰

令和5年度の環境大臣表彰授賞式が、令和5年10月2日（月）ホテルグランドヒル市ヶ谷（東京都）にて執り行われました。本年度の受賞者は次の方々です。

今井 憲章 様（熊本支部 有いまい設備工業）
 米村 徳光 様（御船支部 米村衛生有）
 大矢野 実 様（熊本支部 ㈱健康舎）



今井 憲章 様



米村 徳光 様



大矢野 実 様

□循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰実施要領

浄化槽の設置、保守点検、清掃又は製造等の事業に従事し、浄化槽によるし尿及び雑排水の適正処理の推進若しくは、浄化槽の普及又は浄化槽の機能の向上に顕著な功績のあった者又は浄化槽によるし尿及び雑排水の適正処理の推進に関する公益法人等において当該事業の向上及び発展に顕著な功績のあったもの。

令和5年度 環境整備功労者知事表彰（浄化槽関係）の受賞決定について

令和5年度の知事表彰の受賞者が決定いたしました。表彰式は、令和6年2月9日（金）に県庁知事応接室で行われる予定です。

園田 賢治 様（熊本支部 九州園田設備有）
 牧野 一夫 様（有明支部 ㈱九州設備工業）
 日野 正人 様（菊池支部 有日野環境）
 伊豆野 吉幸 様（御船支部 有伊豆野設備）
 安達 英知 様（宇城支部 有宇土環境）
 陣内 善浩 様（熊本支部 協業）熊本清掃公社）

□熊本県（環境整備功労者）知事表彰実施要項

浄化槽の普及又は向上と業界の指導育成に特に功績のあった者で、その従事歴が10年以上であるもの。

令和6年度 浄化槽整備推進関係 当初予算(案)の概要(抜粋)

令和5年12月22日
環境省浄化槽推進室

(1) 浄化槽整備推進のための国庫助成(循環型社会形成推進交付金)

- ▷ 汚水処理人口普及率は令和4年度末で92.9%となったところであるが、依然として地方を中心に約880万人の国民が単独処理浄化槽やくみ取り槽を利用し、生活排水が未処理となっている状況。人口5万人未満の市町村における汚水処理人口普及率は83.4%にとどまっており、これらの地域は人口密度が比較的低いと考えられることから、合併処理浄化槽の整備を通じて汚水処理未普及の状態を早期に解消し、水環境の保全を推進していくことが重要。
- ▷ 令和6年度予算(案)においては、政府目標である令和8年度の汚水処理施設整備の概成を目指し、浄化槽法に基づき、合併処理浄化槽の整備を加速化するとともに、個人設置型浄化槽の維持管理向上を図るための財政支援を拡充。
- ▷ また、合併処理浄化槽は、災害に強く早期に復旧可能であり、防災・減災、国土強靱化の観点からも、老朽化した単独処理浄化槽やくみ取り槽の合併処理浄化槽への転換促進及び浄化槽の長寿命化を引き続き支援。

○ 循環型社会形成推進交付金(浄化槽分)

市町村の自主性と創意工夫を活かし、健全な水環境や国土強靱化等に資する浄化槽整備を支援。

予算事項	令和5年度 予算額	令和6年度 当初予算額(案)	対前年度比
循環型社会形成推進交付金等 (浄化槽分)	(90億円) 86億円	(93億円) 86億円	(103.3%) 100.0%

※上段()は、内閣府(沖縄)、国土交通省(北海道、離島)計上分を含めた額

※予算額には、廃棄物処理施設整備交付金を含む

(2) 浄化槽整備推進のための国庫助成(二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金)

- ▷ 現状、家庭用の小型浄化槽については、高効率プロワ等の開発が進み省エネ化が推進されており、全出荷基数中の約9割が先進的省エネ型浄化槽となっている。一方で、集合住宅、医療施設等に設置されている中大型浄化槽については省エネ化が遅れており、中大型浄化槽の全出荷基数中のうち先進的省エネ型浄化槽の占める割合は約2割にとどまっている。
- ▷ こうした状況を踏まえ、令和3年10月に閣議決定した地球温暖化対策計画において、先進的な省エネ型浄化槽の導入促進について明記するとともに、令和4年度予算において、浄化槽分野における一層の省エネ対策の促進や再生可能エネルギーの導入の推進に向けた補助事業を新規計上したところ。
- ▷ 令和6年度概算要求においても、引き続き下記の事業を要求し、浄化槽分野の脱炭素化対策を推進。

○ 浄化槽システムの脱炭素化推進事業 R6要求額(案) 18億円(R5予算額 18億円)

2050年カーボンニュートラル及び2030年度46%削減目標の達成に向けて、エネルギー効率の低い既設の中大型浄化槽について、最新型の高効率機器(高効率プロワ等)への改修、先進的省エネ型浄化槽への交換、再生可能エネルギーを活用した浄化槽システムの導入を支援することにより、浄化槽分野における脱炭素化を推進。

浄化槽の整備（循環型社会形成推進交付金等（浄化槽分））

※廃棄物処理施設整備交付金を含む。

【令和6年度予算（案）8,613百万円（8,613百万円）】
【令和5年度補正予算額 500百万円】



単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換や維持管理の向上等を支援します。

1. 事業目的

- 現在でも全国で未だに約880万人が単独処理浄化槽やくみ取り槽を使用しており、生活排水が未処理となっている状況にある。政府目標である令和8年度の汚水処理施設整備の概成を目指し、浄化槽法に基づき、合併処理浄化槽の整備を加速化するとともに維持管理の向上のための支援を行う。
- また、合併処理浄化槽は、災害に強く早期に復旧可能であり、防災・減災、国土強靱化の観点からも、老朽化した単独処理浄化槽やくみ取り槽の合併処理浄化槽への転換促進及び浄化槽の長寿命化を図るための支援を行う。

2. 事業内容

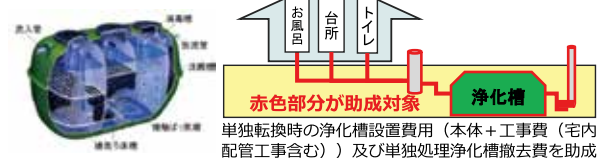
- 市町村が行う浄化槽事業に対して交付金等により支援する。
※令和5年度補正・令和6年度予算では支援対象に下線部分を追加。
- 環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業（交付率1/2）
単独処理浄化槽やくみ取り槽から合併処理浄化槽（環境配慮型浄化槽に限る）に事業計画額の6割以上転換する事業
 - 汚水処理施設概成に向けた浄化槽整備加速化事業（交付率1/2）<R8までの時限措置>
汚水処理施設概成目標※達成のために従来の整備進捗率を上回って浄化槽整備を加速化する事業 ※都道府県構想及び同構想を踏まえ市町村が策定するアクションプランに定める目標
 - 単独処理浄化槽やくみ取り槽から合併処理浄化槽への転換
浄化槽設置・宅内配管工事、転換時の撤去、単独処理浄化槽の雨水貯留槽等再利用
 - 公共浄化槽の整備促進に向けたPFI事業（BTO,BOO,BOT方式）への支援
 - 公共浄化槽・個人設置型浄化槽の少人数高齢世帯に対する維持管理負担軽減事業
 - 市町村が定める浄化槽長寿命化計画に基づく浄化槽の改築事業
 - 浄化槽整備効率化事業
浄化槽台帳作成、計画策定・調査（特定既存単独処理浄化槽に係る調査等含む）、維持管理向上・費用低減に資する一括契約等に必要の情報集約・システム構築、講習会等

3. 事業スキーム

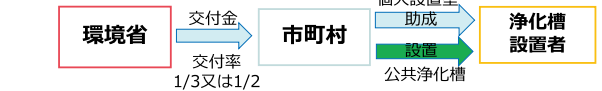
- 事業形態 交付金（交付率1/3又は1/2）
- 交付対象 地方公共団体
- 実施期間 平成17年度～

4. 補助対象、事業イメージ

○浄化槽のイメージ



○事業スキーム



○浄化槽設置整備事業（個人設置型）

費用負担（6割）	2/3又は1/2 市町村	1/3又は1/2 国
----------	-----------------	---------------

○公共浄化槽等整備推進事業

3/30 費用負担	17/30又は12/30 市町村	10/30又は15/30 国
--------------	---------------------	-------------------

○少人数高齢世帯に対する維持管理負担軽減事業

費用負担（5割）	2/3又は1/2 市町村	1/3又は1/2 国
----------	-----------------	---------------

お問合せ先： 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 浄化槽推進室 電話：03-5501-3155

浄化槽システムの脱炭素化推進事業

【令和6年度予算（案）1,800百万円（1,800百万円）】



浄化槽システムの脱炭素化に向けて、エネルギー効率の低い既設中大型浄化槽への先進的省エネ型浄化槽や再エネ設備の導入を支援します。

1. 事業目的

浄化槽分野における脱炭素化の推進に向けて、エネルギー効率の低い既設の中大型浄化槽について、最新型の高効率機器（高効率プロフ等）への改修、先進的省エネ型浄化槽への交換、再生可能エネルギーを活用した浄化槽システムの導入を推進することにより、大幅なCO2削減を図る。

2. 事業内容

中大型浄化槽について、最新型の高効率機器への改修、先進的省エネ型浄化槽への交換、再エネ設備の導入を行うことにより大幅なCO2削減を図る事業を支援する。

- ①既設の中大型合併処理浄化槽に係る高効率機器への改修
 - ・最新型の高効率機器（高効率プロフ等）への改修とともにプロフ稼働時間を効率的に削減可能なインバータ及びタイマー等の設置を要件とする。
 - ・改修によって当該機器のCO2排出量を20%以上削減（③の再エネ設備導入によるCO2排出量の削減を含む）
 - ②既設の中大型合併処理浄化槽から先進的省エネ型浄化槽への交換
 - ・最新の省エネ技術による先進的省エネ型浄化槽への交換を要件とする。
 - ・交換によって既設浄化槽のCO2排出量を46%以上削減（③の再エネ設備導入によるCO2排出量の削減を含む）
- ※さらに、規模見直し等により高い削減率を達成するものは優先採択
- ③中大型合併処理浄化槽への再エネ設備の導入
 - ・上記①又は②と併せて行う再エネ設備（太陽光発電・蓄電池等）の導入を支援する

3. 事業スキーム

- 事業形態 間接補助事業（補助率：1/2）
- 補助対象 民間事業者・団体、地方公共団体等
- 実施期間 令和4年度～令和8年度

4. 事業イメージ



先進的省エネ型浄化槽

高効率プロフ

スクリーン

出典：フジクリーン工業（株）HP

画像提供：（一社）浄化槽システム協会



インバータ制御

画像提供：（一社）浄化槽システム協会



再生可能エネルギー設備

お問合せ先： 環境省環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 浄化槽推進室 電話：03-5501-3155

熊本県における「浄化槽システムの脱炭素化推進事業」について

(二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金)

本事業は、浄化槽分野における脱炭素化の推進に向けて、既設の中大型浄化槽について、最新型の高効率機器（高効率ブロワ等）への改修、先進的省エネ型浄化槽への交換、再生可能エネルギーを活用した浄化槽システムの導入を推進することにより、大幅なCO2削減を図ることを目的に事業実施に必要な経費の1/2を補助する事業です。

令和5年度の熊本県における事業の申請件数は10件で、内容は以下の通りでした。ご協力いただいた皆様へ感謝申し上げます。

交付決定状況

事業	設置場所 市町村	施設用途	交付決定金額 (円)	年間消費電力 削減効果 (kWh)
(1)	南小国町	宿泊施設関係	585,000	2,057
(1)	産山村	娯楽施設関係	16,500,000	79,101
(2)	高森町	医療施設関係	3,050,000	9,370
(1)	小国町	住宅施設関係	585,000	2,057
(1)	小国町	医療施設関係	745,000	6,008
(1)	小国町	店舗関係	800,000	3,352
(1)	南小国町	宿泊施設関係	900,000	3,396
(1)	南小国町	娯楽施設関係	1,660,000	28,280
(1)	上天草市	店舗施設関係	900,000	4,861
(1)	八代市	宿泊施設関係	1,000,000	4,692
合 計			26,725,000	143,173

※事業：(1) 最新型の高効率機器への改修事業、(2) 先進的省エネ型浄化槽への交換事業

※年間消費電力削減効果：小数点以下は四捨五入して表記しています。

本事業の実施期間は、令和4年度から令和8年度までの予定です。来年度も、30人槽以上の既設合併処理浄化槽のブロワ等の電動機器の改修や、槽本体の入替に是非ご活用ください。

お困りごとやご質問がございましたら、担当山下までご連絡ください。

担当 企画管理部 山下

TEL 080-6408-5719

Email m_yamashita@ajk.or.jp



検査手数料の改定について

法定検査手数料につきましては、これまで経費削減に努め、平成13年(2001年)から20年以上、現行の手数料の維持に努めてまいりましたが、昨今、検査機器や試薬等の価格高騰が続いており、浄化槽の法定検査にかかる費用負担も大きくなっています。

これらを踏まえ、熊本県知事から手数料改定の承認を受け、県公報において告示がなされましたので、令和6年(2024年)4月1日実施分より浄化槽の法定検査(浄化槽法第11条にかかる検査)の手数料を下表のとおり改定させていただくことになりました。

法定検査は、浄化槽法第11条に基づき、保守点検や清掃による適正な維持管理が行われ、きれいな水が放流されているかについて行う年1回の大切な検査です。

このたびの手数料の改定につきましてはご負担をおかけしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

記

改定時期:令和6年(2024年)4月1日から下表の手数料となります。

検査項目 種類 人槽区分	法定検査(法第11条)の新手数料	
	合併処理浄化槽	みなし(単独処理)浄化槽
5~10	4,200円	3,800円
11~20	5,400円	5,000円
21~50	7,000円	6,500円
51~100	12,000円	11,000円
101~300	17,000円	15,000円
301~500	18,000円	16,000円
501~	21,000円	19,000円

※法定検査手数料は、非課税です。

「令和5年度 浄化槽フォーラム・熊本inひとよし」開催

令和5年10月31日(火)に人吉市カルチャーパレスにおいて、「令和5年度 浄化槽フォーラム・熊本inひとよし」が開催されました。

当日は、県・保健所、市町村の浄化槽担当者、浄化槽関係業界・団体等を合わせ181名の参加があり、熊本県浄化槽普及促進協議会会長(人吉市長)の主催者挨拶に引き続き、3つの講演が行われました。

講演 1 「浄化槽関連法規について」
講師 熊本県土木部道路都市局 下水環境課
石山 良 氏

講演 2 「昨今の情勢を踏まえた浄化槽について」
講師 全国浄化槽推進市町村協議会
事務局長 久川 和彦 氏

講演 3 「令和2年7月豪雨等における浄化槽の災害復旧について」
講師 公益社団法人熊本県浄化槽協会
法定検査部長 坂口 頼暁



令和5年度 地域(保健所)別連絡会議

令和5年度の地域(保健所)別連絡会議が全11支部で開催されました。

この会議は、行政、会員、協会が一堂に会し浄化槽に関する意見の交換や情報の共有を目的に毎年開催されるものです。

本年度は、浄化槽協会の役割や法定検査の実務の周知を主な内容として開催し、一部の支部では併せて法定検査現場の現地見学を行いました。

会議では、行政機関から浄化槽の整備状況等に関する情報提供があり、その後、一部の地域では活発な意見交換が行われました。

令和5年度の開催状況は次のとおりです。

支部	開催日	開催場所
熊本	11月13日(月)	熊本ホテルキャッスル
有明	11月28日(火)	阿蘇 プラザホテル
山鹿		
菊池		
阿蘇		
御船	11月 2 日(木)	農業研修センターろくじ館
宇城	11月10日(金)	料亭 さかもと屋
八代	11月17日(金)	八代グランドホテル
水俣	12月 8 日(金)	あらせ会館
人吉	11月 8 日(水)	人吉温泉 鍋屋
天草	10月24日(火)	天草プラザホテル アネックス



水俣支部での法定検査現場の現地見学の様子

球磨郡地域婦人会連絡協議会研修会で講演を行いました

球磨郡地域婦人会連絡協議会の皆様に機会をいただき、令和5年6月25日(日)に多良木町多目的研修センターで「私たちの生活と水」をテーマに講演を行いました。

参加された方からの感想として、「浄化槽について何も知る機会がなかったので大変良かった」「浄化槽の定期点検の必要性が分かった」「家庭での水の使い方がわかり、各家庭で心がけなければと思いました」などをいただきました。



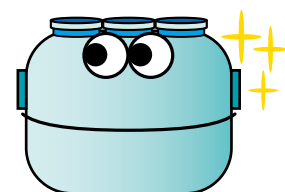
研修会



講演



参加された方からの質問



今後も、浄化槽の普及啓発活動の一環として、環境学習への出前講座や環境フェア等への出展を行っていきます。環境学習として学校、子供会、自治会、婦人会等の団体を対象に実施いたしますので、是非ご活用ください。講座内容や時間につきましては、ご相談いただきましたら対応いたします。費用負担もございません。お気軽に担当までご連絡ください。

担当 企画管理部 山下

TEL 080-6408-5719 Email m_yamashita@ajk.or.jp



より良い水環境をめざして ～改善が望まれる事例～

協会では、地域の水環境の保全に寄与するため、浄化槽の検査を実施しています。

今号から新しい取組みとして、「より良い水環境をめざして」と題し法定検査の結果や調査研究を通じて得られた情報を皆様へ発信します。

手探りでスタートですので、内容についての拡充も今後の検討課題としております。

また、今後は、事業所様と連携して、水質改善にむけた調査・研究の報告等も実施していきたいと考えておりますので、ご協力いただける事業所様が有られましたら、お気軽にお声かけください。

改善が望まれる事例

事例

流入管渠立ち上げ部の破損



外観検査に係る項目

流入管渠及び放流管渠の設置状況

指摘の状況

流入配管の蓋枠の一部に欠損が認められます。

指摘理由

蓋枠の欠損部から雨水や土砂が浄化槽へ流入する恐れがあること。また、臭気や衛生害虫の発生が予見される

改善にむけて

流入管渠の立ち上げ部の欠損箇所の修繕を行う必要があります。また、草刈り機や物品の衝突により再度破損する恐れがあるため、蓋上部をグラウンドレベルに合わせる事が望まれます。

職員研修会の実施

職員の資質向上、安全な法定検査の実施等に向けた職員研修を次の通り実施しました。今後とも、公益法人職員としての責務を全うし、水環境の保全に取り組んでまいります。

日時 令和6年2月13日(火)予定
講師 和田労働安全コンサルタント事務所
和田尚志 氏
演題 酸素欠乏危険作業特別教育

日時 令和5年12月27日(水)
講師 御船警察署
演題 安全運転に関する講和

日時 令和5年12月27日(水)
講師 各課職員
演題 研修成果報告等、業務改善事例等について



令和5年度 浄化槽法指定検査機関四国地区協議会検査員研修会

9月14日(木)・15日(金)、「令和5年度浄化槽法指定検査機関四国地区協議会検査員研修会」が、香川県高松市の高松国際ホテルにて開催されました。

新型コロナウイルスが5類に移行してからは、初めて開催されました。四国4県をはじめ、福岡(3名)及び有明(1名)長崎(2名)大分(2名)宮崎(2名)鹿児島(4名)熊本(4名)の計10県の指定検査機関から93名が参加しました。

初日の分科会では、「受検率向上について」や「検査申し込みから検査実施までのシステムについて」等のテーマについて活発な意見交換が行われました。全体研修では、(公財)日本環境整備教育センターの濱中俊輔先生から「浄化槽における災害対策及び維持管理の向上について」と題したご講演をいただきました。

2日目は、四国各県の指定検査機関から研究発表が行われ、高知県環境検査センターの「放流水質改善に関する研究への取り組み」が最優秀研究を受賞しました。



第37回全国浄化槽技術研究集会

10月10日(火)・11日(水)、「第37回全国浄化槽技術研究集会」が神奈川県横浜市のパシフィコ横浜にて開催されました。当協会からは森田会長のほか役職員が参加し、全国から270名ほどの参加がありました。

初日は特別講演「人口減少を見据えて～生活インフラの意義について～」と題し、兵庫県佐用町 庵途(あんざこ)典章町長の講演に続き、鹿児島県からは浄化槽設置前後での放流水質、下流域の水質改善事例の報告、福岡県からはCO₂ 排出量の見える化・削減の取り組みとして、検査ルート改善によるガンリン使用量の削減事例等、環境負荷低減に着目した研究発表が複数ありました。2日目は浄化槽行政担当者研究会・浄化槽検査員研究会があり、最近の浄化槽行政に関し、環境省浄化槽推進室 沼田正樹室長の報告の中で点検・清掃業者から直接、維持管理情報をアプリを用いて更新する、埼玉県の整備事例の紹介がありました。また、浄化槽システムの国際展開に関した報告等14件の発表がありました。



九州地区検査員研修会

11月22日(水)、令和5年度「九州地区検査員研修会」が宮崎市のホテルニューウェルシティ宮崎にて開催されました。当協会から4名、他の九州・四国地区の検査機関から92名(計96名)の参加がありました。

主催県である九州地区浄化槽指定検査機関協議会事務局の(公財)宮崎県環境科学協会 専務理事 重盛俊郎様からの挨拶のあと、研究発表と分科会、意見交換会が行われました。

九州・四国地区から6つの研究発表が行われ、当協会からは、佐々田主査が「熊本地震・令和2年7月豪雨災害からの学びと災害への備え」と題し発表を行いました。その後の分科会も「検査、水質分析、女性活躍推進部会」の3テーマに分かれて行われ、各県の課題や取り組みについての情報を実務レベルで共有することが出来ました。



支部活動報告 (天草支部)

令和5年度の支部活動として、天草支部は、11月25日(土)に上天草市大矢野町宮津海遊公園で環境美化活動を行いました。この活動は水環境の保全、合併処理浄化槽の普及促進、法定検査の周知を目的に実施しています。当日は、支部会員、協会職員(31名)が参加し、ごみ拾い等の美化活動を行いました。



インターンシップの受け入れ

熊本工業高校工業化学科の生徒2名のインターンシップ(就業体験)を10月23日(月)から27日(金)まで受け入れました。

「環境と浄化槽」のテーマでの講義を皮切りに、BOD検査を含む水質検査作業、法定検査の現場作業、事務作業と浄化槽協会の業務を体験してもらいました。

5日間という短い期間でしたが、体験した業務の一つ一つに苦労があり、社会とのつながりがあることを理解してくれたようでした。特に、自分たちで測定したオレンジジュースのBOD分析結果から「飲み残しや食べ残しが水環境の悪化へつながる事を理解して、日頃の生活を見直すきっかけになった」と環境への意識も高まったようでした。

【参考情報】

熊本県教育委員会では、令和元年10月から、高等学校におけるキャリア教育の充実に向け、インターンシップ等の受入が可能な事業所を検索できる「事業所情報検索データベース」を同委員会のホームページで運用されています。当協会も受入可能事務所として登録しました。



「事業所情報検索データベース」QR
(<https://intern.higo.ed.jp/internship/>)



現場検査への同行



試薬の調整



事務作業

各種イベントに参加

協会では、浄化槽に関する普及・啓発活動の一環として、県内市町村で開催される各種イベントにブースを出展し、地域の方々への情報発信に努めています。イベントでは、パネルの展示、パンフレットの配布や浄化槽についてのアンケート調査を各支部や行政機関と連携しながら実施しております。

令和5年9月からの11月までの各種イベントの参加状況は、以下の通りです。

イベント名	開催日	開催場所
こうさ環境フェア2023	9月23日(土)	甲佐町生涯学習センターホール・ギャラリーモール
錦町ふるさと祭り	11月 4日(土)	錦町民グラウンド
みなまた産業団地まつり	11月11日(土)	水俣産業団地



(こうさ環境フェア2023)



(錦町ふるさと祭り)



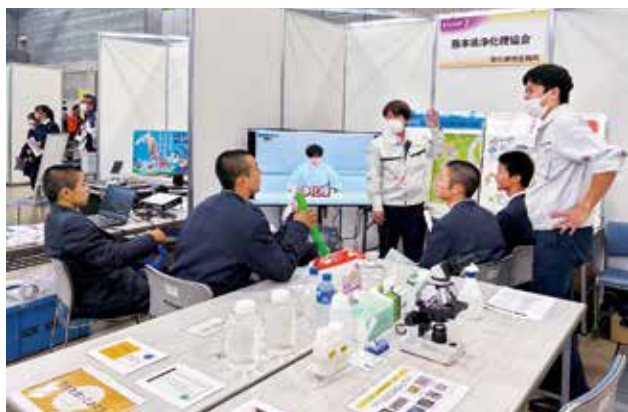
(みなまた産業団地まつり)

お仕事探検フェア

12月12日(火)、グランメッセ熊本で開催された「くまもとお仕事探検フェア2023」に出展しました。本イベントは、熊本県の高校生を対象に仕事や学びの体験を通し、企業・業界の魅力を伝え、進路選択、将来の県内就職のきっかけをつくる場として平成23年度より実施されています。(来場者数：約4,500名、出展規模：84の企業・団体・学校等)

当協会ブースへは、85名の来場があり、浄化槽の役割の説明やCODパックテスト、浄化槽内の微生物の顕微鏡観察を行いました。

顕微鏡観察では、はじめて微生物をみる生徒も多く、「動いている!!」「たくさんいる!!」等の声もあり、生活排水処理・水環境について、より身近に感じてもらう機会となりました。



協会からのお知らせ

第10回親睦ゴルフ大会開催

令和5年12月15日(金)に益城町の高遊原カントリークラブで、「第10回親睦ゴルフ大会」が開催されました。当日は、森田会長をはじめとする会員の皆様方、総勢21名が参加しました。

開会式の後、OUT/INに分かれ、全18ホールの熱戦がスタート。この日はあいにくの雨模様で厳しいコースコンディションでしたが、午後からは雨も上がり全員が楽しい雰囲気の中プレーを終えることができました。結果は東田慎一氏(宇城支部 (有)大東工業)の優勝となりました。来年も引き続き開催しますので、皆様のご参加をお待ちしております。

当日の入賞者は次のとおりです。(ダブルペリア方式)

優勝	東田 慎一氏	41・48
準優勝	寺村 重年氏	49・48
第三位	甲斐 秀人氏	48・52
ベストグロススコア	東田 慎一氏	41・48



新入職員紹介



徳永 正利 (とくなが まさとし)

①趣味/特技

子供と昆虫や水生生物の採集をすることです。学生の頃はバドミントンをしていました。

②2024年の抱負

一日も早く浄化槽検査員として一人前の仕事ができるよう、日々努力していきます。

③自己PR・メッセージ

令和5年8月より法定検査部に配属となりました徳永正利と申します。熊本が誇る綺麗で豊かな水資源を守るよう、浄化槽の検査業務に励んで参ります。至らぬ点が多々あるかとは思いますが、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。



河原 春花 (かわはら はるか)

①趣味/特技

読書、映画鑑賞、飲食店めぐり

②2024年の抱負

浄化槽検査員を取得し、多くの経験を積んでいきます。

③自己PR・メッセージ

令和5年11月に入社しました河原春花です。日々のご教授にすでに天手古舞な未熟者ですが、立派な検査員になれるよう精進致します。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

アンケートのお願い

「協会ニュースNo.55」をご一読いただきありがとうございます。
アンケートのご協力をお願いいたします。今後の誌面づくりの参考とさせていただきます。
アンケートは、下記のURLまたはQRコードからご回答ください。

<https://forms.gle/LsXVvcoNncYK6J4c6>

※所要時間：約2分

※回答期限：令和6年2月29日(木)



令和5年度 浄化槽技術講習会の開催について

当協会では、浄化槽の製造、施工、保守点検及び清掃実務者の技術力向上を目的とした「令和5年度 浄化槽技術講習会」を下記内容にて開催します。

講習会は、全体研修と専門研修に分けて開催します。なお、本講習会は「熊本県浄化槽保守点検業者の登録に関する条例」第9条第5項に規定する「浄化槽の保守点検の業務に関する研修」に該当する講習会として開催します。

1. 日時 令和6年2月5日(月) 午後1時～午後4時55分(受付:正午～)
2. 場所 グランメッセ熊本 2階 コンベンションホール 大中会議室
3. 内容

◆全体研修◆(会場:コンベンションホール)

演題:「これからの浄化槽について」

講師: 環境省 環境再生・資源循環局
廃棄物適正処理推進課
浄化槽推進室 室長 沼田正樹 様



演題:「浄化槽設置に伴う事務手続き等について」

講師: 熊本県 土木部 建築住宅局 建築課 主任技師 村田遼 様

演題:「熊本県における浄化槽の整備状況等と施策展開について」

講師: 熊本県 土木部 道路都市局 下水環境課 主事 平下雄盛 様

◆専門研修◆

●分科会1(製造・施工関係)(会場:中会議室)

演題:「浄化槽の特殊工事及び改修工事等への対応について」

講師:(一社)浄化槽システム協会 JSA講師団部会委員 木村信賀 様

●分科会2(維持管理関係)(会場:コンベンションホール)

演題:「中大型浄化槽の制御盤の適正な設定方法について」

「コンパクト型・高度処理型浄化槽の清掃・点検の実務内容について」

講師:(公財)日本環境整備教育センター 仁木圭三 様

表紙について

表紙の写真は、阿蘇市一の宮町にある阿蘇神社楼門です。熊本地震の本震により倒壊しましたが、約1万力所以上の補修を終え、昨年12月7日に7年8か月ぶりに復旧。壊れた部材を新材で接ぎ合わせるなどして72%が再利用されており、楼門をくぐると、江戸と令和の両職人の技を実感することが出来ます。